

あずま小児童が
ヤマメ稚魚放流

黒坂石川

みどりの市立あずま小学校の4、5年生がこのほど、渡良瀬川の支流である黒坂石川でヤマメの稚魚を放流した。

ユネスコの提唱する持続可能な開発のための教育(ESD)の趣旨に基づき、チャウス自然体験学校では、あずま小学校や両毛漁業協同組合、県水産試験場、東毛少年自然の家などと協力し、ヤマメをテーマに環境を学ぶ教育プログラムづくりを実践してきた。

今回の稚魚放流は、

その最後を飾るイベント。4、5年生の児童は、自分たちで飼育してきたヤマメの稚魚を地元の黒坂石川に運び、水温などになじませながら、清流に放った。

「川をきれいにする」「ごみがあったら拾う」など、子どもたちは自

分にできる環境保護の目標も設定。ヤマメによってつなげた人の暮らしと自然との関係を見つめ直していた。

.....

ヤマメの稚魚を放流するあずま小の子どもたち(みどりの市東町内を流れる黒坂石川で)

